る噴火１０年

ンドル

2000年の有珠山噴火から10年を迎かえ、３月27日、28日２日間「有珠山噴火メモリアル10年」(同メモリアル委員会）のイベントが開かれ、半額感謝セールやホテルでの特別プランなどが行われました。噴火当日にあたる31日は、ペット慰霊祭とシンポジウム、金比羅火口フットパス巡りなどが開催され、節目の10年を記念して様々なイベントが実施されました。夜にはペットボトルで作った約２,000個のエコキャンドルの淡い光が洞爺湖温泉街を包み、10年前を振返りました。

有珠山噴火メモリアル10年感謝セール

同メモリアル実行委員会は、噴火の記憶を忘れず、語り継いでいくことを目的に毎年31日イベントを行ってきました。

今年も2日間にわたって、町内と壮瞥町温泉地区の各協賛店で、1店1品につき半額セールを実施し、ホテル、旅館も家族4人で素泊まり1万円の宿泊特別プランを用意しました。加えて10年の節目ということで、火山科学館の入館無料が行われました。

洞爺湖ビジターセンターでは、宇井忠英北大名誉教授による「噴火・泥流実験」が開かれ、材料が粉末のココアとチョコレートなどということで、参加した子どもらは、いつにもまして楽しげに実験に取組んでいました。

動物慰霊祭

２０００年噴火時に、ペットを保護する有珠山動物救護センターを開設した北海道獣医師会（波岸裕光会長）が、10年の節目を向かえ、噴火後初めて動物慰霊祭を開きました。

歴史公園にある動物慰霊碑には、同会や当時のボランティア、住民など約１００人が参加し、波岸会長が「これからも、この地を中心として、動物といっしょに生活するものとして、慈しみのこころを大事にしていきたい」と挨拶しました。

午後1時7分の吹鳴と同時に全員が黙とうした後、一人ひとりが慰霊碑に菊の花を手向け、亡くなったペット達の霊を慰めました。

ペット達の霊を慰める当時のボランティア

災害時のペット救護を考える動物救護シンポジウム開催

有珠山噴火10年　動物救護シンポジウム「災害時に、どうしますか?あなたのペット達を」（主催北海道獣医師会）が、あぶたふれ合いセンターで開かれました。